



センター通信

〒 123-0873 東京都足立区扇 1-12-20
TEL (03)3856-2728 FAX (03)5939-7880
URL www.wfc.or.jp

～第12回聖心チャリティーバザーを終えて～

7月14日(土)、前夜の雨が信じられないような晴天となり、例年以上の来場者にも恵まれて、皆様の笑顔と関係者の達成感と共に無事に終了致しました。

聖心インターナショナルスクールのご好意により、今回も会場を只で提供して下さい、前日の搬入より当日の搬出まで事務局長を始めとして、用務員さんや警備の方たちにも関わって頂き、助かりました。

又、私共の趣旨にご理解を下さり、お忙しい中、多くの後援者や企業の方達が、ラッフルの賞品や販売用にと荷物を作って送って下さいました。ご来場の皆様の昼食にと人手を割いて、お店を出して下さいました皆様、当日の販売員としていらして下さいました皆様。ホワイトエレファントのお店の為に、独自に物品を集めて、販売に至るまでお手伝い下さった皆様。通年に亘って、毎週金曜日に扇倉庫を整理し、寄付物品の仕分けや値段付けを労を惜しまず時間の都合をつけて来て下さっている皆様等々、信じられないほど多くの方達のご支援で、開催し、無事に終わられました事に紙面を拝借して御礼申し上げます。

今回は新しい試みとして、センターの歴史をご来場の皆様にご覧頂こうと歴史パネルを準備しました。豊島区の小さな部屋から始まったセンターが社会のニーズに応じてここまで事業を拡大し、来年度には新宿寮の建て替えを予定している事などを2枚のパネルにして展示しました。センターを全くご存じない来場者の皆様は勿論、卒業生も懐かしく見ていかれました。

後援会の方たちと共に、職員も一緒に汗をかき、利用者も加わって、皆が一緒になって準備から始まり片付けに至るまで心一つで行ったチャリティーバザーでした。今後も皆様のご支援を頂きつつ、続けていかれます様、努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

聖心チャリティーバザー担当理事 荒船旦子



☆センターの店

初めて7月の開催でしたが、皆の心掛けが良かったので、風もありバザー日和で沢山のお客様に来ていただき、大盛況でした。

私はボランティアとして20年以上青少年福祉センターと関わり、聖心バザーも11回目となります。今回は前日の荷物の搬入前に床にシートを敷くという大変な作業がありましたが、職員の方々が大汗をかき

ながら廊下から階段までシートを敷き、重い机や椅子、大量の荷物を所定の場所まで運ぶという力仕事をてきぱきとこなされた後も、売場の仕度を積極的に手伝っていただきました。当日は大勢のボランティアの協力のもと、私のいたセンターの店も大にぎわいで、3回目となる一袋千円のおつめ放題のイベントも大盛況でした。

普段は各施設でそれぞれ仕事をされている職員の皆様が一丸となって働く姿を見て、青少年福祉センターの未来に大きな希望を感じたバザーでした。最後にバザー委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。

担当 ボランティア 大日方涼子



☆食品コーナー

今年は初の試みで販売したタピオカミルクティが完売し、他の食品も売上を上げることが出来ました。

食品ブースで一生懸命手伝ってくれた寮生の働きが大きな力となったと共に、職員一同協力し合えたことが、このような好結果に繋がったのだと思います。

また、バザーには参加できなかった寮生や職員も販売用のクッキー作りやタピオカミルクティの下準備を手伝ってくれました。見えない所で働いてくれた寮生達の協力があったからこそ当日は支障なく販売できたと思います。

今年も暑い中、バザーにお越し頂いたお客様、また支援して頂いた多くの方々やお手伝いしてくれた児童や職員に感謝致します。

担当 保木間地区(清周寮・暁星学園ほきまホーム)



☆ホワイトエレファント

おかげさまで、大好評・即座完売商品が多くありました。



中古ブランドの高級品である、洋服・バッグ・靴や、中古の高級絨毯、ミンクのコートや古物の某有名ブランド食器などは、あっという間に売れました。逆に、家電製品や新品の食器などは、売れ残ったものもありました。

今回、初参加させていただきましたボランティアが大変意義ある、楽しい体験をさせていただいたと感謝しています。ホワイトエレファントには、60人を超えるボランティアの中、30人は9回目の参加になります。その回数は青少年センターへの思いを語ります。

担当 ボランティア 中村玲子

☆歴史パネルと募金箱

青少年福祉センターの歴史をパネルにする仕事で参加しました。製作しながら発足の始まりから苦労された時代を改めてたどり、作業中に改めて長谷場先生の偉大さに触れる思いでした。会場で展示したあと、様子を見に行く事もできず、写真が剥がれ落ちたりと作りの甘さに反省。

後日聴いた所、寄付が1万円入っていたとの話に安堵しました。パネルは今回2枚でした。これが、センターの発展と共に4枚6枚と増えて行かれるようにと思っています。



担当 あげの星学園

☆リフレクソロジー

今回で2回目となるハンドリフレクソロジーは、ボランティア募集に苦慮し、前回に比べて小規模での実施となりました。ハンドリフレクソロジストとして今回参加したボランティアの方は、普段は看護師として働いており、夜勤明けでの参加でした。バザー終了後、「私でお力になれるのであれば是非次回も呼んで下さい」とセンターの活動を応援して下さいました。



リフレクソロジーは好評頂き、施術中眠ってしまった方やリピーターもいらっしゃいました。「とても気持ち良かった」とお客様より感謝のお言葉を頂き、実施したことを大変嬉しく思います。

ボランティアとして参加された方、ハンドリフレクソロジーを利用して下さったお客様、ありがとうございました。

担当 おうぎ寮

☆ラッフル抽選会

皆様の青少年福祉センターの活動にご理解を頂きまして、沢山の企業や団体からご寄付を戴くことができました。

ラッフルとは、富くじで、企業や団体からご寄付を頂き成り立っております。毎年恒例のラッフルは、これをお目当てにして、来場するお客様も沢山おられ、バザー全体の収益に大きく左右されます。これも、皆様のご理解があつての事だと思います。

ご賛同して頂きました方々には、今後ともご理解と、ご協力をお願いいたたく存じます。



担当 暁星学園

☆お祭り広場

今年は天候にも恵まれ、蒸しかえるような暑さの中、第12回聖心バザーが開催されました。



お祭り広場には、元気な子ども達で賑わいました。魚釣りで特賞を取った男の子、ヨーヨーを上手にすくい上げられた女の子、射的に腕を奮わせるお父さんもいました。当バザーを楽しみながら応援を下さっている皆様の様子を見ると、我々職員としても、その思いを利用者に還元したくなる気持ちでいっぱいです。

第13回聖心バザーも盛況にすべく、各職員はすでに準備を始めているので、この場をお借りして、各関係企業様、後援者の皆様のご協力とご助力をお願い申し上げます。ありがとうございました。

担当 新宿地区(新宿寮・あけの星学園)

第12回チャリティーバザー収支のご報告

収 入		支 出	
寄附金	1,362,000	通信費	139,090
ラッフル券	3,072,600	賞品発送料	36,330
センター店	1,143,442	消耗品費	9,240
食品	500,371	印刷費	79,275
ホワイトエレファント	1,226,655	交通費(レンタカーを含む)	91,510
ハンドリフレ	7,000	材料費	78,475
お祭り広場	50,650	保険	34,730
出店	86,692	郵便振替手数料	15,060
著書販売	11,000	雑費	84,018
収入計	7,460,410	支出計	567,728

近・況・報・告

■正社員を目指して 新宿寮

現場系、特に清掃業に励む寮生が増えてきました。5:30頃には起きて、週6日ほど出勤しています。

飲食店でも、週6日勤務をして、頑張っている寮生もいます。

OBで、新宿寮に在籍していた時代から3年ほど勤めたアルバイトをこの度辞めて、正社員雇用を目指して就職活動をはじめたOBがいます。安定した生活を目指して、がんばれ!



■寮生もバザーに参加! 清周寮

デニーズでの仕事も忙しいなか、チャリティーバザーの食品部門を積極的に手伝ってくれた女子のAさん。タピオカミルクティーやうどん作りと大変だったけど、とても助かりました。ありがとうね。

現在、清周寮では、高校に入り直そうと頑張っている女子がいます。それぞれの道に向かって、精一杯努力しています。職員も応援していますよ!



■介護で社会に貢献 おうぎ寮

高校在学中にヘルパー2級の資格を取得して、現在、足立区内の特別養護老人ホームで、働いている寮生がいます。早番や遅番などで大変ですが、とてもよく頑張っています。

その他にも、塗装の訓練校に通う寮生や、保育専門学校に通う寮生、ホテル専門学校に通う寮生もいます。働きながら、学校に通うのは、大変ですが、へこたれずに頑張ってくださいね。

本当によくやっていると関心させられます。



■昼は学校、夜はバイト 暁星学園

高校2年生男子で、昼間は学校に行きながら、夜は、焼肉屋さんでバイトをしながら、頑張っている児童がいます。動物好きな彼は、将来は、トリマーの専門学校に進学して、腕を磨きたいと考えています。

現在は、女子のグループホームも含めると、高校3年生が9名在籍しており、3月には、卒園ラッシュとなりそうです。彼等彼女等が一気にいなくなると思うと、淋しくなります。



■警察官になりたい あけの星学園

現在高校3年生の男子A君は、高校を卒業したら、警察官になりたいという夢を、持っています。今年の警察官採用試験のために、だいぶ前から勉強をしています。ぜひ合格してもらいたいものです。

その他に、朝5時に起床して、7時からマクドナルドでアルバイトをして、その後、2部生の高校に通っている女子がいます。全速力で頑張っています。職員みんな応援しているよ。



自立を目指して ノエル

出勤前にはゴミ出しをし、職場でもきちんと仕事をこなしているNさんは、ノエルの近くにアパートを借りての自立を目指しています。健康管理のために、カロリー計算をしたお弁当を配達してもらうことも経験し、金銭管理も職員と共に出来るようになってきました。

色々大変でしょうが、バックアップ体制を整えて、一人暮らしの楽しさも経験してほしいと願っています。

植林ツアーに参加

東京西北ロータリークラブのお誘いで、新宿寮・あけの星学園・暁星学園の児童15名と共に、奥多摩の共生・協働の森へ、植林に行ってきました。

急な山道を1時間以上歩き、急勾配な山にはいつくばっての植林は、なかなか貴重な体験となりました。

その後、青梅の料亭で昼食をごちそうになり、鶴ヶ島の新宿材木市場の工場見学をさせていただきました。植林から、木材の加工までと、一連のながれを見るができ、子どもたちもとても喜んでおりました。

ツアーを組んで下さった、ロータリーの皆様に、この場を借りて、お礼申し上げます。



10名の職員が仲間入り



児童への支援を充実させるため、今年度、10名の新任職員を採用しました。その中には、法人自体は勿論、職員のアドバイザーにもなって頂くために、3月末で定年退職された施設長もお迎えしています。

4月1日に辞令交付式を行い、各事業所に配属が決まりました。また、昨年度より始めた、3日間におよぶ新任職員研修も実施しました。初日には、全事業所を周り、現場を目で見えて触れることで、指導員の実感がわいたようです。事業所長によるセンター職員の心構えや、ビジネスマナーなど、新任職員に必要な多くものを取り入れて実施しました。9月には、半年を振り返るフォローアップ研修を実施する予定です。利用者のために、新任、ベテランと共に努めて参りますので、よろしくお願い致します。

多くの皆様に支えられたお蔭で、昨年度も無事に終えることができました。この場を借りて、感謝申し上げます。

編集後記

昭和56年、聖心会のシスター岩下が、センターのために始めて下さった聖心チャリティーバザーも、今年で30年目、第12回目となりました。無事にとりおこなうことができたのも、関係者の皆様の厚いご支援があったからこそと感じています。

今回のバザーでは、新宿寮建替資金を集める為に、募金箱を設置させていただき、10,000円を越えるお気持ちがありました。皆様の善意で成り立っているセンターを、今後ともどうぞ、よろしくお願い致します。
(本部 坂井)